

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第29週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他、最新動向



注目すべき感染症  
P.5-7

< インフルエンザ > 第29週はやや減少したが、今後とも沖縄県、鹿児島県の流行については、注意深く観察していく必要がある  
< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第29週の報告数は119例で前週より減少した



病原体情報  
P.8-10

A群コクサッキーウイルス6型 2005年 / ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキー - ウィルス 2005年 / 手足口病患者から検出されているウィルス 2005年



速報  
P.11

2005年のエンテロウイルス分離状況 - 愛媛県



海外感染症情報  
P.12-14

インドネシアでの鳥インフルエンザの状況 / アンゴラでのマールブルグ病流行 / インドネシアでのポリオ流行 / ニジェールでのコレラ流行 / インドから帰国した旅行者が狂犬病で死亡 - 英国 / 中国四川省で高致死率の感染症が発生 / 米国でのウエストナイルウイルス活動状況



感染症の話  
P.15

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(29週)  
P.16-22



29週のデータ  
P.23-34



## 発生動向総覧

\*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第29週コメント> 7月28日集計分

### 全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

1類感染症:報告なし

2類感染症:細菌性赤痢 7例(推定感染地域:ベトナム2例、インド1例、インド/パキスタン1例、モロッコ1例、エジプト1例、メキシコ1例)

腸チフス 4例(推定感染地域:国内1例、インドネシア1例、疑似症2例)

3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症 119例(うち有症者84例)

報告の多い都道府県:埼玉県10例、北海道(7例)\*、愛知県(7例)

\*うち4例は、同一介護保険施設における発生

血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(44例)、O157 VT2(23例)、O26 VT1(22例)、O157 VT1(1例)、O26 VT1・VT2(1例)、O103 VT1(1例)、O111 VT1(1例)、O26 VT1+O165 VT1・VT2(1例) その他(25例)

年齢:10歳未満(48例)、10代(16例)、20代(15例)、30代(13例)、40代(10例)、50代(5例)、60代(5例)、70歳以上(7例)

4類感染症:つつが虫病 1例(新潟県)

日本紅斑熱 1例(徳島県)

ライム病 1例(推定感染地域:カンボジア/ロシア)

レジオネラ症 8例(40代2例、50代1例、60代3例、70代2例)

E型肝炎 1例(推定感染地域:中国、推定感染源:不明)

A型肝炎 2例(推定感染地域:ともに国内)

5類感染症:アメーバ赤痢 6例

推定感染地域:国内4例、インド1例、不明1例

推定感染経路:経口1例、性的接触(異性間)3例、不明2例

ウイルス性肝炎 2例(ともにC型\_\_推定感染経路:血液曝露1例、不明1例)

後天性免疫不全症候群 4例(無症候3例、その他1例)

推定感染経路:すべて性的接触(異性間1例、同性間3例)

推定感染地域:国内3例、不明1例

梅毒 6例(早期顕症I期3例、早期顕症II期2例、無症候1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例

(遺伝子型:ともにVanA\_\_菌検出検体:尿1例、褥創部浸出液1例)

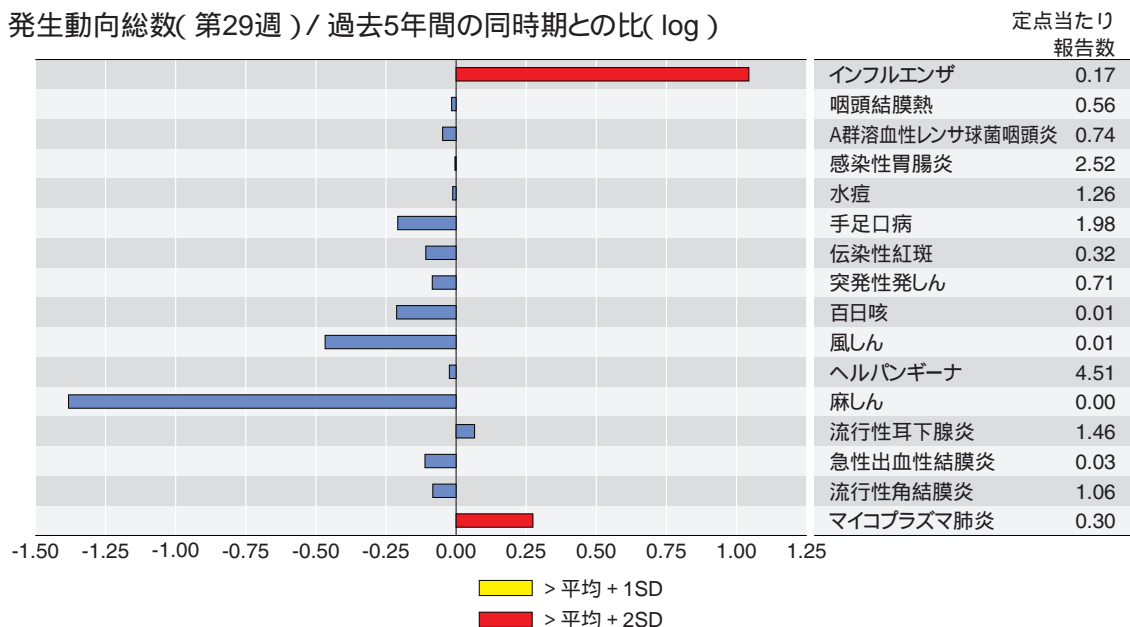
急性脳炎 1例(病原体不明、90代)

(補)他に、コレラ1例の報告があったが削除予定。また、報告遅れとしてボツリヌス症(乳児型)1例(推定感染地域:国内、推定感染源:不明)、急性脳炎4例(アデノウイルス4型1例(11カ月)、病原体不明3例(2歳、9歳、50代))、髄膜炎菌性髄膜炎1例(10代、推定感染地域:国内)、破傷風1例(80代、死亡)の報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第29週)/過去5年間の同時期との比(log)



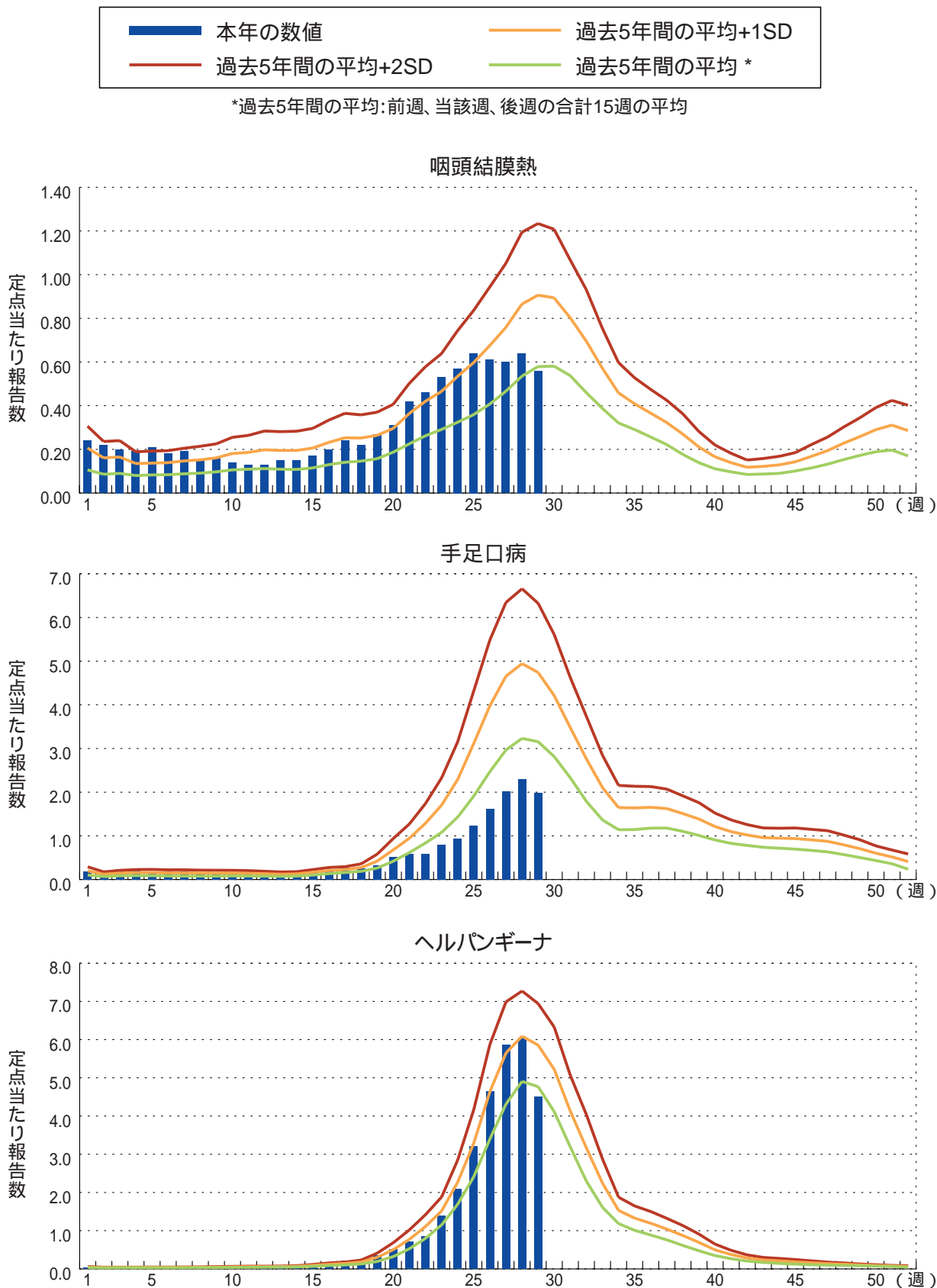
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

**インフルエンザ定点報告疾患** : 定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県(12.76)、鹿児島県(0.58)、三重県(0.05)が多く、沖縄県では第28週よりやや減少したが、鹿児島県では増加した。

**小児科定点報告疾患** : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山口県(1.12)、福岡県(1.05)、佐賀県(0.91)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第22週以降、連続して減少が続いている。都道府県別では宮崎県(1.5)、茨城県(1.2)、山形県(1.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降、減少が続いている。都道府県別では福井県(6.2)、宮崎県(5.7)、大分県(5.0)が多い。水痘の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では宮城県(2.6)、三重県(2.4)、群馬県(2.0)、静岡県(1.9)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では広島県(11.5)、山口県(10.5)、宮城県(3.9)、鳥取県(3.8)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山梨県(1.08)、福岡県(1.03)、福島県(0.90)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では和歌山県(0.10)、栃木県(0.09)、福岡県(0.09)が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福島県(0.10)、大阪府(0.03)、大分県(0.03)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では三重県(10.4)、宮崎県(8.6)、石川県(7.9)、長野県(7.8)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福井県(0.05)、埼玉県(0.02)、新潟県(0.02)、大阪府(0.02)、兵庫県(0.02)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では石川県(5.5)、富山県(2.7)、熊本県(2.5)、佐賀県(2.4)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて36都道府県から30例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。

**基幹定点報告疾患** : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮城県(1.2)、福島県(1.1)、山口県(1.1)、青森県(1.0)、愛媛県(1.0)が多い。

図. 主要定点把握疾患の週別過去5年間との比較(2005年第1～29週)  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





# 注目すべき感染症

## インフルエンザ

インフルエンザの定点医療機関からの報告数は、第27、28週と増加したが、第29週は報告数80( 定点当たり報告数0.17 )とやや減少した( 図 )。これは、沖縄県からの報告数が第28週の827( 定点当たり報告数14.26 )から、第29週の740( 定点当たり報告数12.76 )へと減少したことが大きく影響している。同県では、注意報レベルに達している保健所地域も、3カ所から2カ所に減少した。しかしながら鹿児島県では、報告数が第28週の8( 定点当たり報告数0.09 )から第29週の54( 定点当たり報告数0.58 )へと増加がみられており、この多くは、沖縄県に最も近い徳之島保健所管内( 定点当たり報告数7.60 )であった。また、沖縄県内でも、これまでは本島を中心に流行がみられていたが、第29週では八重山保健所管内において増加( 定点当たり報告数は第28週5.0に対して、第29週は9.0 )がみられており、沖縄本島での流行が他の地域にも伝播している可能性が高い。

今後とも沖縄県、鹿児島県のインフルエンザの流行については、注意深く観察していく必要がある。

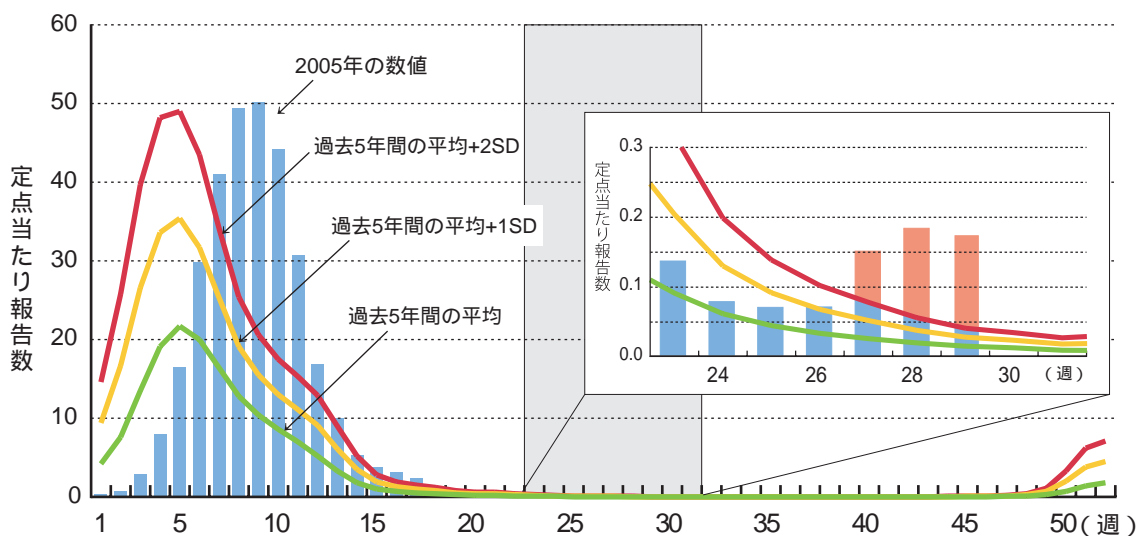


図.インフルエンザの発生状況

2005年の値を棒グラフで、過去5年間の平均( 前週、当該週、後週の合計15週の平均 )およびその標準偏差( +1SD、+2SD )を折れ線グラフで示した。

## 腸管出血性大腸菌感染症

2005年の報告数は第20週に50例を超えた後、増加傾向を示し、第23週には100例、第28週には150例を超えた。第29週の報告数は119例で前週より減少したが、第26週からは継続して100例を超えている(図1)。第29週時点での累積報告数は1,341例(2002年1,407例、2003年997例、2004年1,364例)であり、現在までのところ例年に比べて特に多いとは言えない。

都道府県別では、第29週に報告の多かったのは埼玉県(10例)、北海道(7例)、愛知県(7例)であり、宮崎県では保育園での集団発生が認められている(図2)。また、累積報告数では北海道(88例)、大分県(80例)、大阪府(76例)、東京都(70例)が多い。

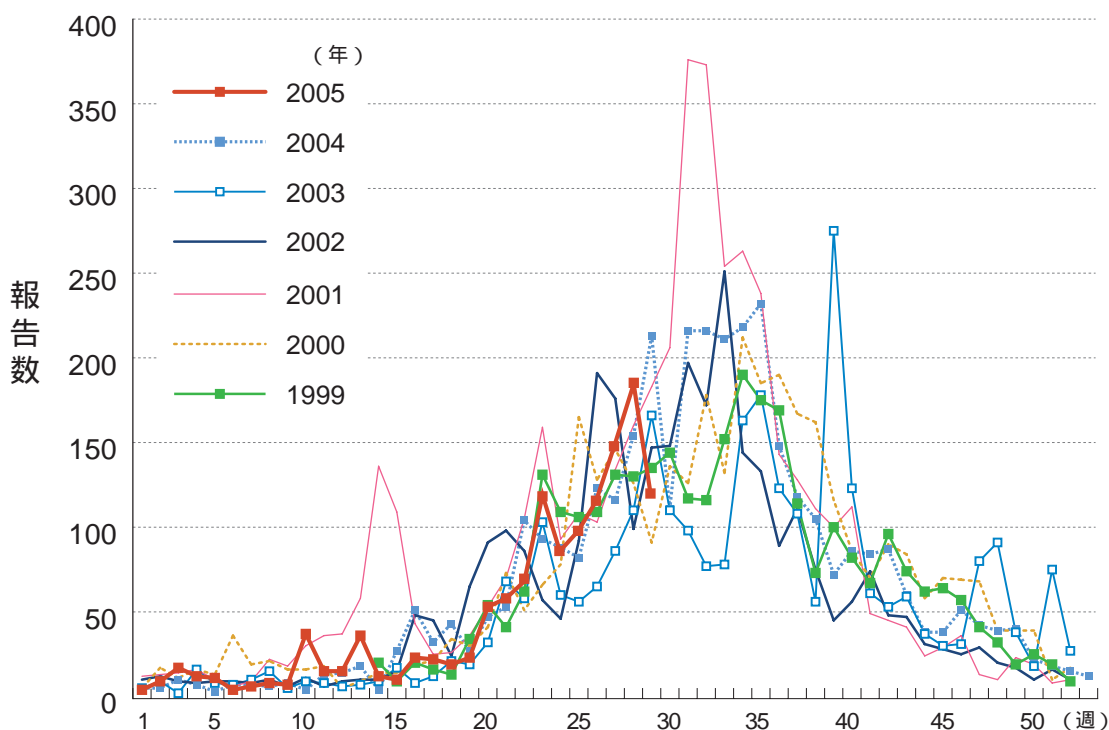


図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

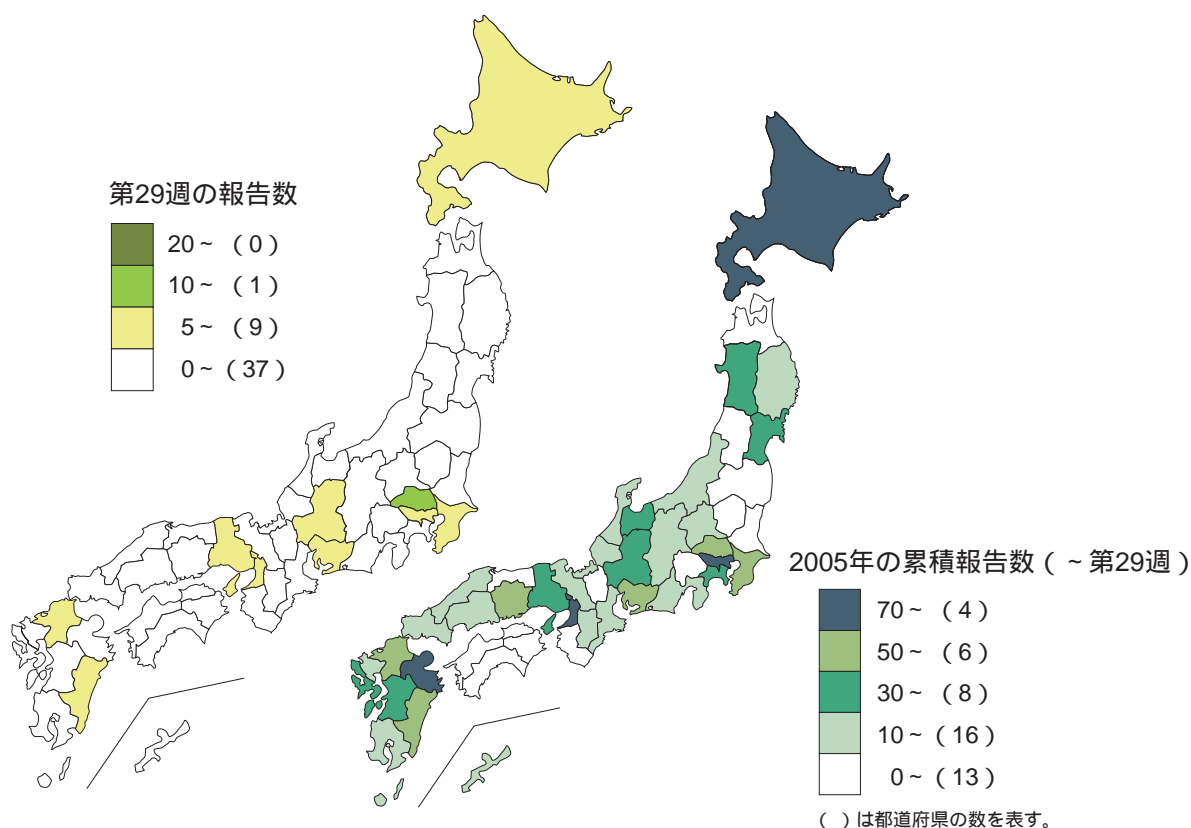


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況

第29週に報告された119例のうち、性別では男性61例、女性58例であり、年齢階級別(10歳毎)では相変わらず0～9歳(48例)が最も多く、40%を占めた。また、有症状者は84例(71%)で、無症状病原体保有者が35例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。また、溶血性尿毒症症候群(HUS)の報告は、第29週は1例で、累積では18例となった。18例の年齢は10歳未満が11例(うち5歳未満は7例)で、10代3例、50代1例、60代1例、70代1例、80代1例であった。死亡例については第29週に報告はなく、累積では2例である。HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、発生があった場合の追加・修正報告をお願いしている。

血清型・毒素型別では、第29週はO157 VT1・VT2(44例)、O157 VT2(23例)、O26 VT1(22例)の順に多く、累積報告数ではO157 VT1・VT2(500例)、O157 VT2(285例)、O26 VT1(251例)の順に多い。

例年集団発生が多く認められる保育施設も含め、本年も各種施設における集団発生や死亡の報告がなされている。本症の発生が増加する盛夏に入ったので、十分な警戒が必要である。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。保育所においては、特にオムツ交換時の手洗い、園児に対する食前・食後の手洗い指導の徹底、簡易プールなどの衛生管理などにも注意を払う必要がある。



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

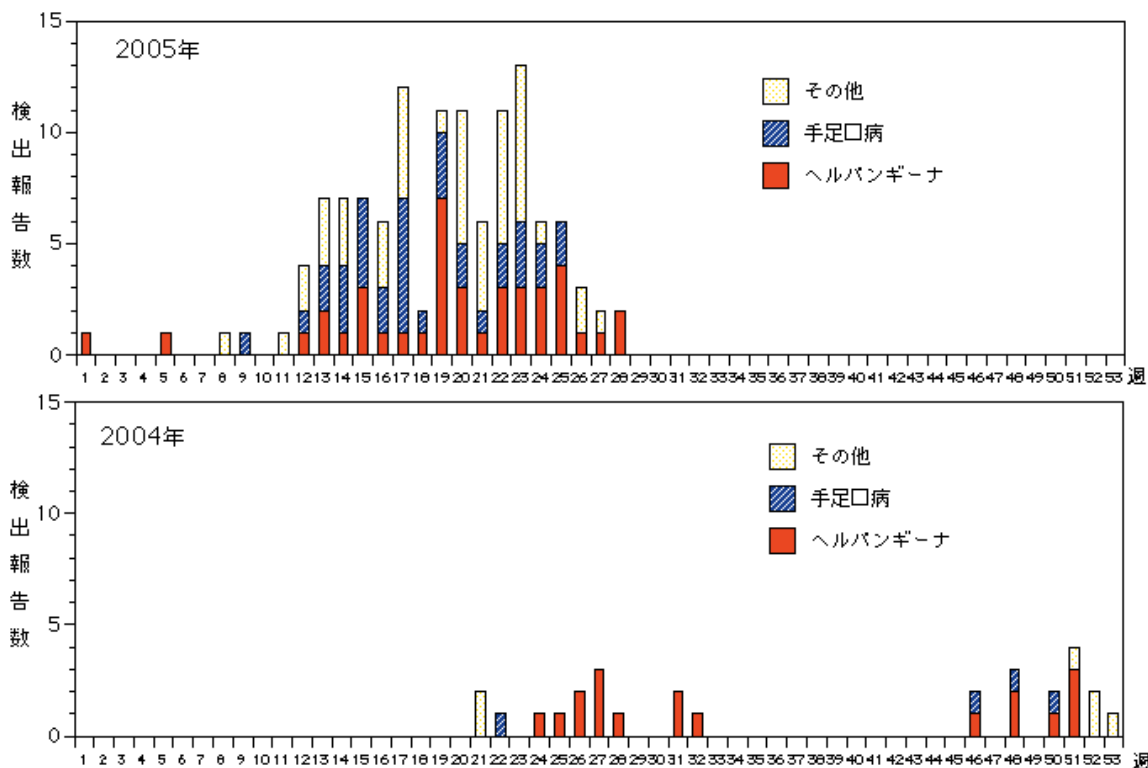
各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2005年7月29日現在報告分)

### A群コクサッキーウイルス6型 2005年

2005年第12週以降、A群コクサッキーウイルス6型(CA6)の検出が増加しており、ヘルパンギーナや手足口病患者の他、上気道炎や発熱の症状を呈した患者などから検出されている(本号11ページ速報記事、およびIDWR2005年第27号10ページ速報記事参照)。CA6は2004年の夏季には報告が少なかったが、冬季にも検出が報告されていた。

週別CA6検出報告数、2004年&2005年 (病原微生物検出情報: 2005年7月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



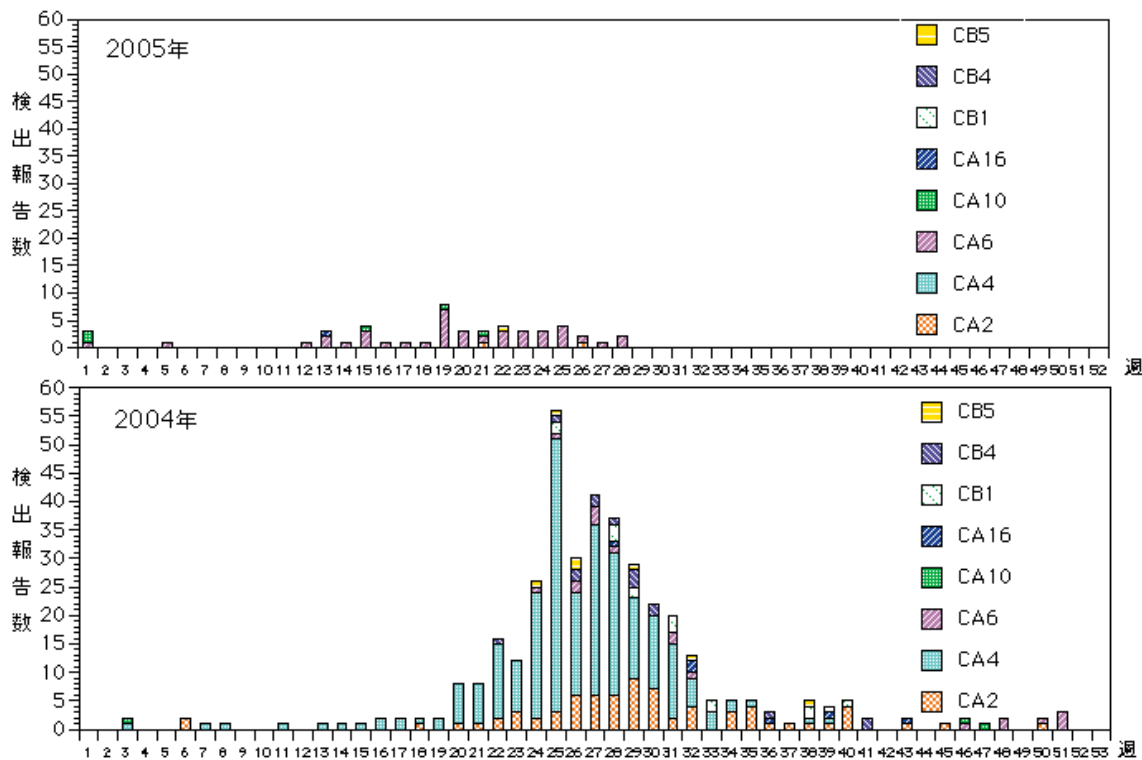
Infectious Agents Surveillance Report



**ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキー - ウイルス 2005年**  
 2004年はCA4が主に検出されていたが、2005年はCA6が40件、CA10が5件、CA2が2件、CA16、CB5が各1件報告されている。

**週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離報告数、2004年&2005年**

(病原微生物検出情報：2005年7月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

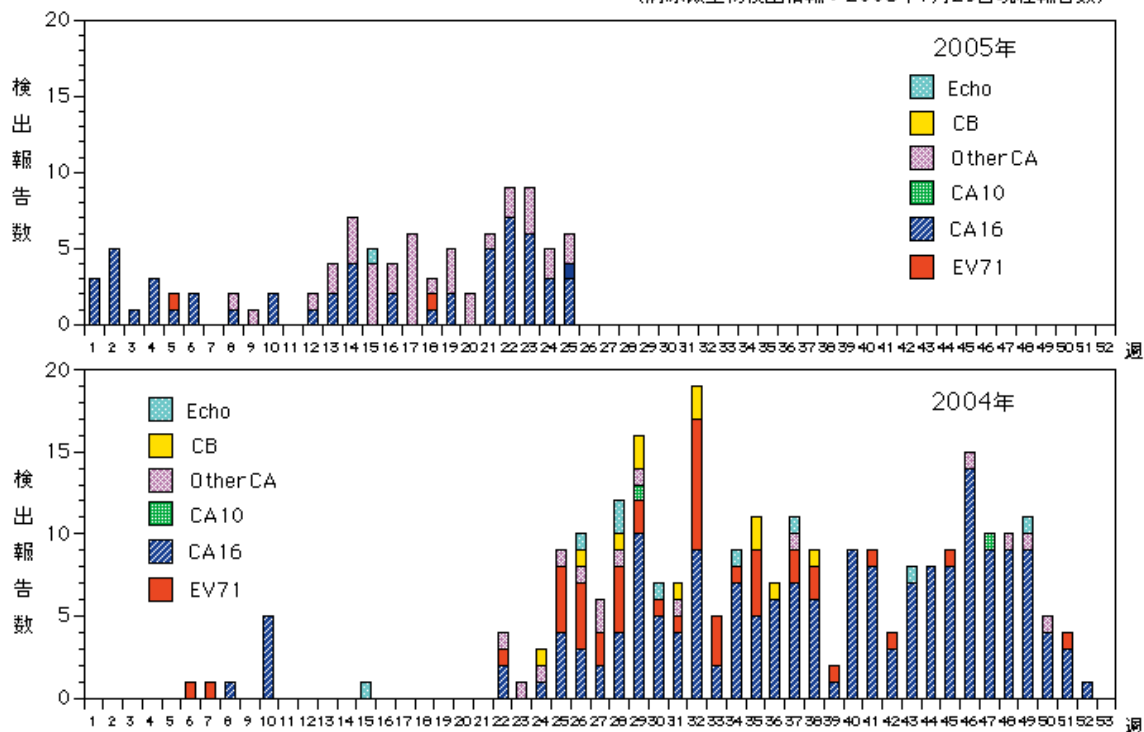


### 手足口病患者から検出されているウイルス 2005年

2004年はCA16が主で、エンテロウイルス71型( EV71 )も検出されていたが、2005年はCA16が54件、CA6が35件、EV71が2件、CA5、CA10、E3が各1件報告されている。

#### 週別手足口病患者からのウイルス分離報告数、2004年&2005年

(病原微生物検出情報：2005年7月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



## 2005年のエンテロウイルス分離状況 - 愛媛県

2005年の愛媛県におけるエンテロウイルス(EV)感染症は、全般的に穏やかな流行で推移している。ヘルパンギーナ患者報告数は、例年より約2カ月早い第11週頃から増加傾向を示し、緩やかな増加で、第23週(6月第2週)の定点当たり報告数3.6人/週をピークとして、減少傾向にある。手足口病(HFMD)の発生頻度は低く、期間中では1.3人/週が最多であった。今回は、EVを中心とした2005年のウイルス分離状況について報告する。

供試した検体は、2005年1～7月に感染症発生動向調査の一環として、病原体定点等医療機関から搬入された咽頭ぬぐい液等計567件で、ウイルス分離はFL、RD-18S、Vero細胞を用い、33で2週間回転培養して行った。また、必要に応じて哺乳マウスも併用した。同定は感染研分与および自家製抗血清を用いて中和試験を行った。

EVは計29株分離され、そのうちコクサッキーウイルス(C)A6が2～6月に計21株と、最も多く分離された。次いでCA16が5株、その他にエコーウイルス3型が1株、6型が2株分離された。EV以外には、インフルエンザウイルスA香港型が6月まで例年より長い期間分離され、B型も2～4月に多く分離された他、アデノウイルスが5、6月に多く分離された。

ヘルパンギーナから分離されたEVはほとんどがCA6であるため、今年と同疾患はCA6を主要原因とする流行であったと考えられた。なお、CA6はヘルパンギーナの他、熱性疾患、上・下気道炎等、多様な疾患から分離されており、さらにHFMDからも4株分離され、うち1株は水疱内容物から分離されたことから、CA6が今シーズンのHFMDの一因でもあったことが示唆された。HFMDからは23件中5件のCA16が分離されており、今年度のHFMDはCA16とCA6が主要原因であったと推測された。

なお、CA6はRD-18S細胞にのみ感受性を示したが、細胞培養での分離は比較的困難で、CPEの発現までに約10日～2週間を要した。また、今回分離された21株のうち3株は哺乳マウスのみで分離され、哺乳マウスがCA6に高い感受性を持つことが示唆された。

愛媛県立衛生環境研究所

豊嶋千俊 山下育孝 近藤玲子 大瀬戸光明 井上博雄

(IASR 2005年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> ) をご覧下さい。

### インドネシアでの鳥インフルエンザの状況

WHO/CSR 2005年7月29日 - 更新26

2005年7月29日現在、Banten州Tangerang出身の8歳の女児が血清検査により、鳥インフルエンザA/H5感染の可能性が示された。WHOのリファレンスラボである香港大学と米国CDCで、3日間隔で得られた2検体を測定したところ、H5N1特異中和抗体が高値であった。この患者は、以前に確認された確定患者( [http://www.who.int/csr/don/2005\\_07\\_21a/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2005_07_21a/en/index.html) )の娘であった。

1歳の娘の検査結果はまだ出ていない。確定患者からPCRで増幅された遺伝子型は、Javaの家禽から分離されたH5N1の遺伝子型と高い相同性を示しており、遺伝子変異の証拠はみられなかった。

この家族内集団発生に対する拡大疫学・環境調査が実施されている。

農業省によると、この家族の家の道路向かいの家にあった鳥かごの糞から、H5ウイルスが検出された。鳥かごの中のペットの鳥の排泄腔、および咽頭スワブはH5陰性であった。現在のところ、これが唯一の感染源として疑われている。周囲の環境検体は陰性であった。

保健省は接触者300名以上の監視を続けているが、これまで症状を呈した者はいない。血清抗体陽性率の結果はまだ出ていない。感染が確認された地域と全土で、サーベイランスが強化されている。44の指定病院が決定され、疑い患者を受け入れる準備がなされている。全土で衛生教育運動が行われている。政府は、WHOと密接に協力して状況を監視している農業省など、政府関係組織間での協力関係を強化した。

### アンゴラでのマールブルグ病流行

WHO/CSR 2005年7月29日 - 更新24

2005年7月28日現在、保健省は、アンゴラでマールブルグ病患者368名、死亡者323名を報告した。157名が検査室検査で確認された。対策チームは現在、ウイジェ州Songo自治区で接触者45名を追跡調査している。このチームは疑い患者発生情報を収集し、調査を行っている。臨床検体は、カナダの公衆衛生機関の特別病原体部へ送付される。

### インドネシアでのポリオ流行

WHO/CSR 2005年7月29日 - 更新12

West Java州で新たにポリオ患者2名が確認され、総数は155名となった。1名はCianjurからで、もう1名はKota Bekasiでの初の患者である。

これらの新たな患者は、5月31日と6月28日に行われた緊急予防接種キャンペーン実施地区内で発生し、麻痺の発症はこの合間に起こった。8月30日と9月27日に、全土の5歳以下の小児2,440万人に接種する「予防接種の日」が計画されている。

### ニジェールでのコレラ流行

WHO/CSR 2005年7月29日

ニジェール保健省は2005年7月13～28日に、49名の患者と5名の死亡者の発生を報告した。発生場所はTahoua地方のBouza保健区である。検査でO1コレラ菌が確認された。

### インドから帰国した旅行者が狂犬病で死亡 - 英国

Eurosurveillance Weekly Vol.10, Issue 7 2005年7月28日

英国でヒト狂犬病輸入例での死亡が報告された。患者は、休暇でインドのゴアを訪れていたときに犬にかまれた。狂犬病の診断は、Suuey州Weybridgeにある国立狂犬病研究所で確認された[1]。2005年2月にはドイツ人女性が、2004年暮れに4週間インドで過ごした後に狂犬病で死亡した[2]。2004年の5月には、ドイツ・バイエルンの男性がインドに5カ月間滞在中に狂犬病に感染し、死亡した[3]。インドでは、狂犬病で少なくとも年間30,000名が死亡していると報告されている[4]。

参考文献:

- [1] HPA. Case of imported rabies in the UK. Commun Dis Rep CDR Weekly 2005; 15( 30 ): news. ( <http://www.hpa.org.uk/cdr/index.html> )
- [2] Robert Koch-Institut. Informationen zu den Tollwutu "bertragungen durch Spenderorgane. Epidemiologisches Bulletin 2005;( 8 ): 69 ( [http://www.rki.de/cIn\\_006/nn\\_335538/DE/Content/Infekt/EpidBull/Archiv/2005/08\\_05,templateId=raw,property=publicationFile.pdf](http://www.rki.de/cIn_006/nn_335538/DE/Content/Infekt/EpidBull/Archiv/2005/08_05,templateId=raw,property=publicationFile.pdf) )
- [3] Summer R, Ross S, Kiehl W. Imported case of rabies in Germany from India. Eurosurveillance Weekly 2004; 8( 46 ): 11/11/2004 ( <http://www.eurosurveillance.org/ew/2004/041111.asp#4> )
- [4] World Health Organization. Immunization, Vaccines and Biologicals. Rabies vaccine. [Updated April 2003, cited 28 July 2005] ( <http://www.who.int/vaccines/en/rabies.shtml> )

### 中国四川省で高致死率の感染症が発生

WHO西太平洋事務局 2005年8月1日

[http://www.wpro.who.int/media\\_centre/news/news\\_20050801.htm](http://www.wpro.who.int/media_centre/news/news_20050801.htm)

2005年7月22日に中国衛生部はWHOに対し、中国四川省にて原因不明の疾患で20名の患者と9名の死亡者が発生したことを報告した。

8月1日までに、四川省と国の合同チーム(後ろ向き患者調査を含む)は徹底的な調査を行い、総計181名の可能性患者と34名の死亡者を見出した。中国は新規患者発生の最新情報を毎日発信し、情報の提供に努めている。さらに中国CDCのウェブサイトで、フィールド調査から得られた広範囲な情報が提供されている。

同時期に同地域でブタが発病して死亡した件に対し、動物保健当局が調査を行い、このブタの疾患は*Streptococcus suis*(豚連鎖球菌)感染と判明した。この細菌は世界中のブタに常在し、通常は無症状であるが、時に発病して死に至ることもある。

ヒトの流行に関する調査の結果、多くの患者がブタのと殺、加工、あるいはその摂食をしていたことが早いうちから分かった。また検査により、疑い患者19名で豚連鎖球菌の感染が示された。他の患者との接触が疑われる例はないと思われる。

この流行は同菌によるものと考え、政府対策チームが感染ブタの同定、啓発による感染リスクの予防、ヒト患者の発見と治療などによる拡大制圧対策を開始した。

ヒトの豚連鎖球菌感染は散発的に世界中で発生がみられており、通常はブタとの職業的な接触により発生する。大多数の例では軽症であるが、一部で髄膜炎や毒素性ショック症候群などで重症化し、死に至ることがある。しかし、豚連鎖球菌感染の集団発生は珍しい。さらに、患者の臨床症状の多くは豚連鎖球菌感染と一致するが、重症患者の比率や致死率が比較的高い。しかしながら、調査開始時点で重篤な患者をより発見しやすかったことの反映である可能性も考えられる。

### 米国でのウエストナイルウイルス活動状況

CDC/West Nile Virus 2005年7月26日

2005/7/26現在 (CDCホームページより)

州	神経侵襲性 <sup>1)</sup>	ウエストナイル熱 <sup>2)</sup>	他/不明 <sup>3)</sup>	ヒト患者数	死亡者数
アリゾナ	2	5	0	7	0
アーカンソー	0	2	0	2	0
カリフォルニア	6	9	2	17	1
コロラド	0	7	0	7	0
ジョージア	0	0	1	1	0
インディアナ	1	0	0	1	0
カンザス	0	2	0	2	0
ルイジアナ	1	0	0	1	0
ミネソタ	1	2	0	3	0
ミシシッピ	0	2	0	2	0
ミズーリ	1	0	0	1	1
ニューメキシコ	1	1	0	2	0
オハイオ	1	0	0	1	0
ペンシルバニア	1	0	0	1	0
サウスダコタ	1	10	0	11	0
テキサス	2	0	0	2	0
合計	18	40	3	61	2

1) 重症例を示し、特にウエストナイル髄膜炎やウエストナイル脳炎である。

2) 神経侵襲性の証拠がなく、より重症度の低い症例。ウエストナイル熱は現在、国レベルでは報告義務のある疾患ではない。したがって、州保健当局がCDCに報告するかどうかは任意である。

3) 「他」とはウエストナイル熱、ウエストナイル脳炎、あるいはウエストナイル髄膜炎以外の臨床所見を示す症例で、例えば急性弛緩性麻痺。「不明」とは十分な臨床情報が得られていない症例。



## 感染症の話

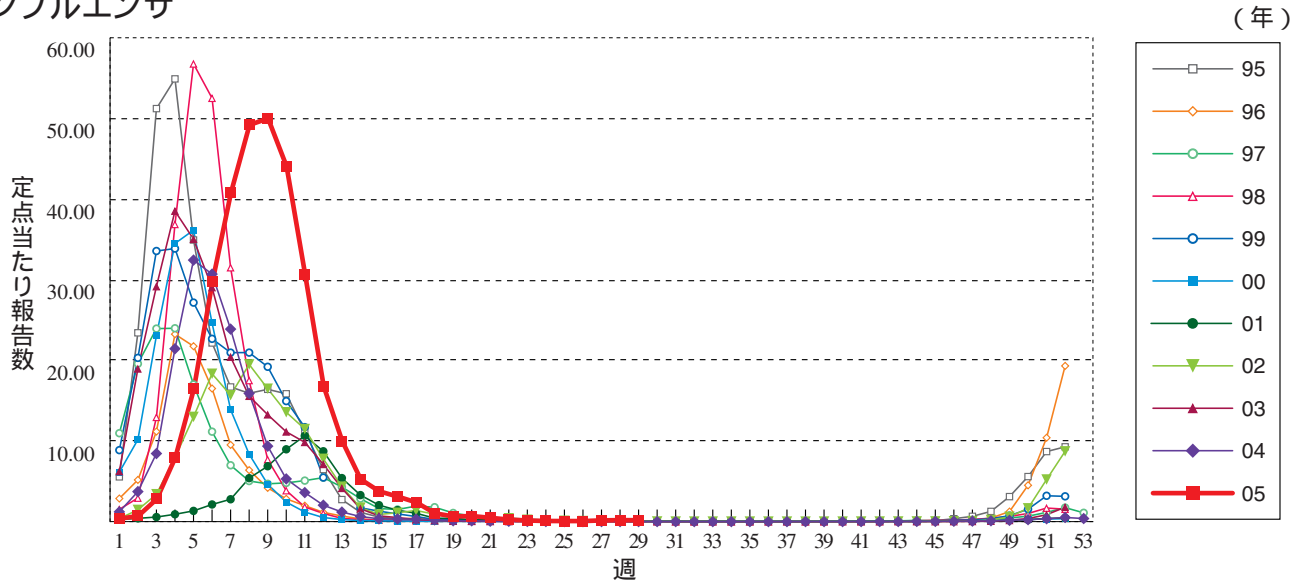
\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

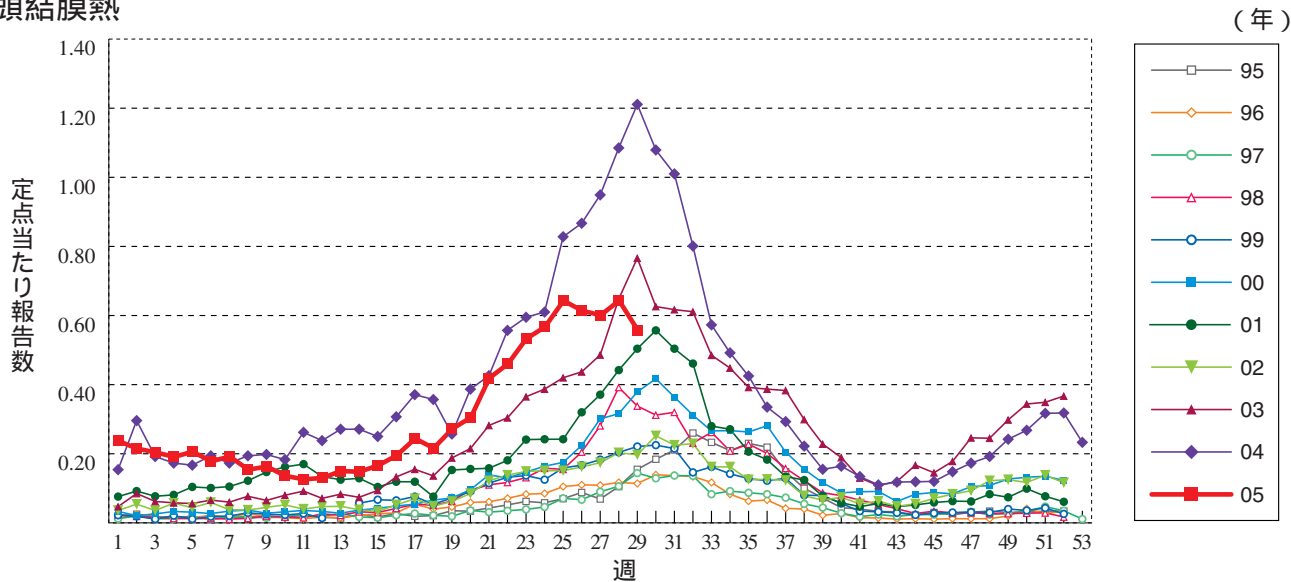
\*\*\*\*\*

**グラフ総覧(29週)**

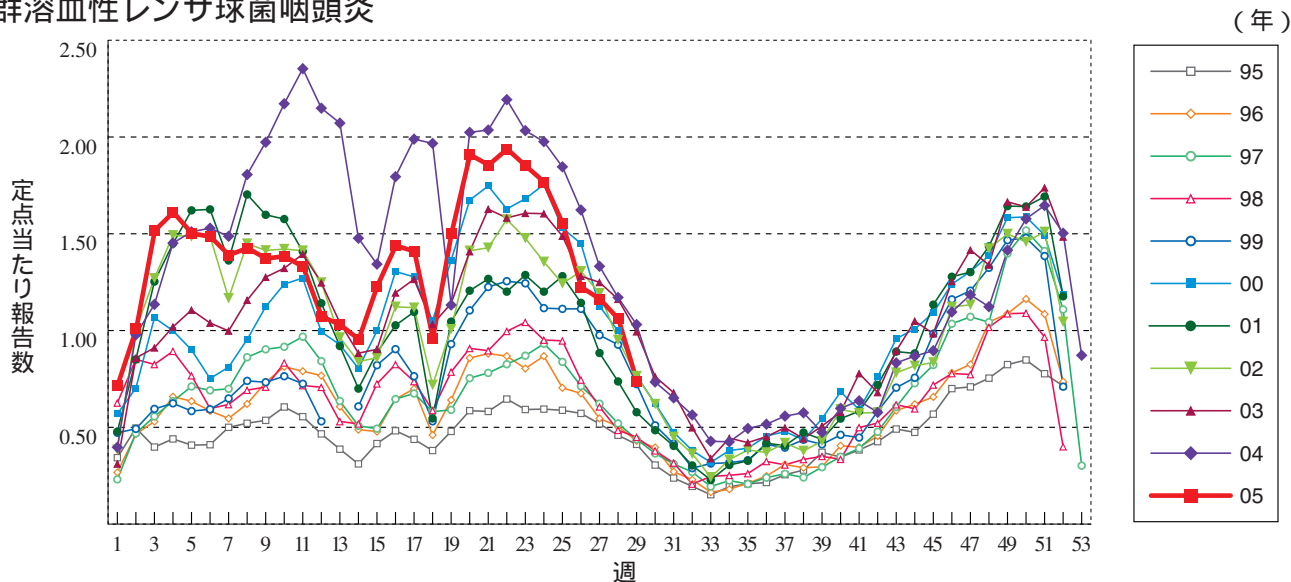
**インフルエンザ**



**咽頭結膜熱**

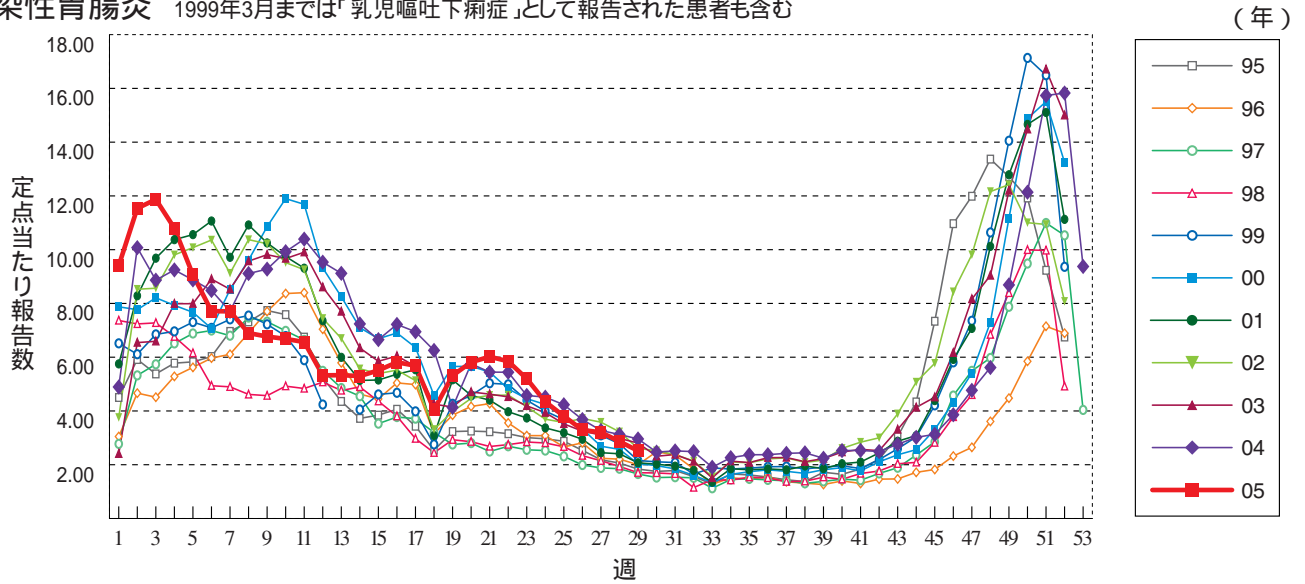


**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

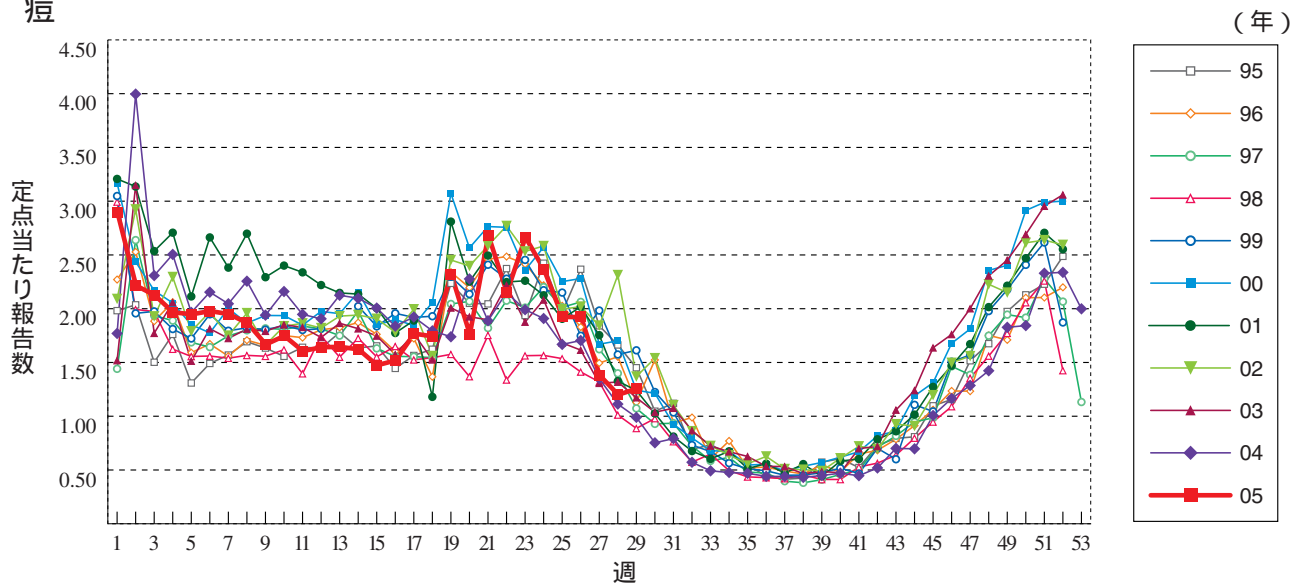




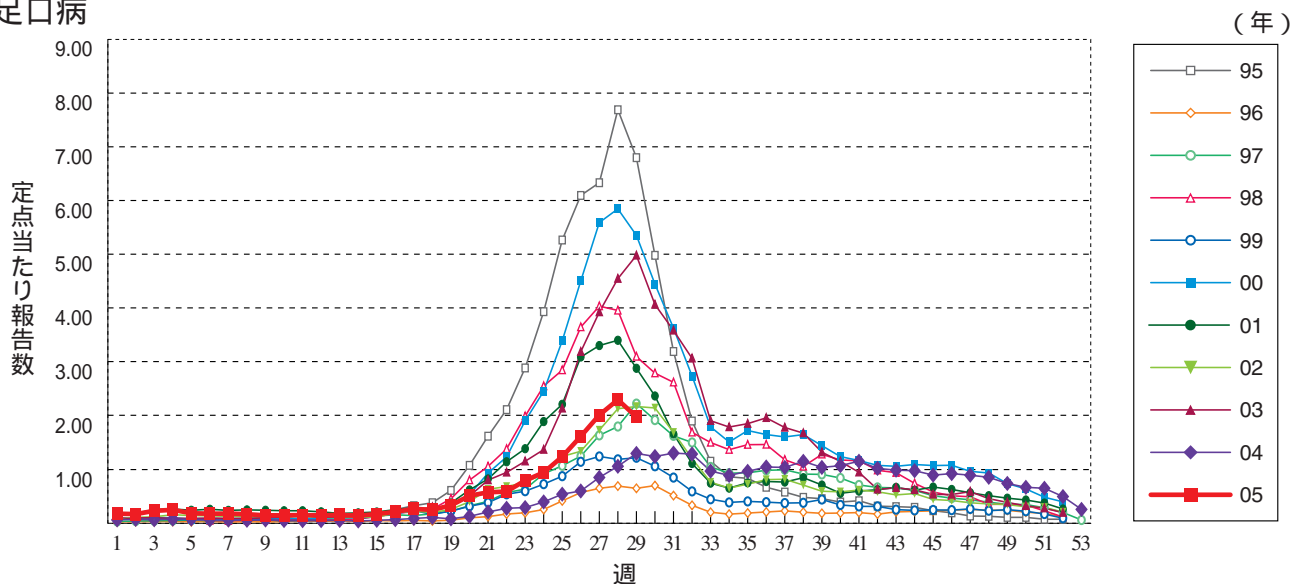
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



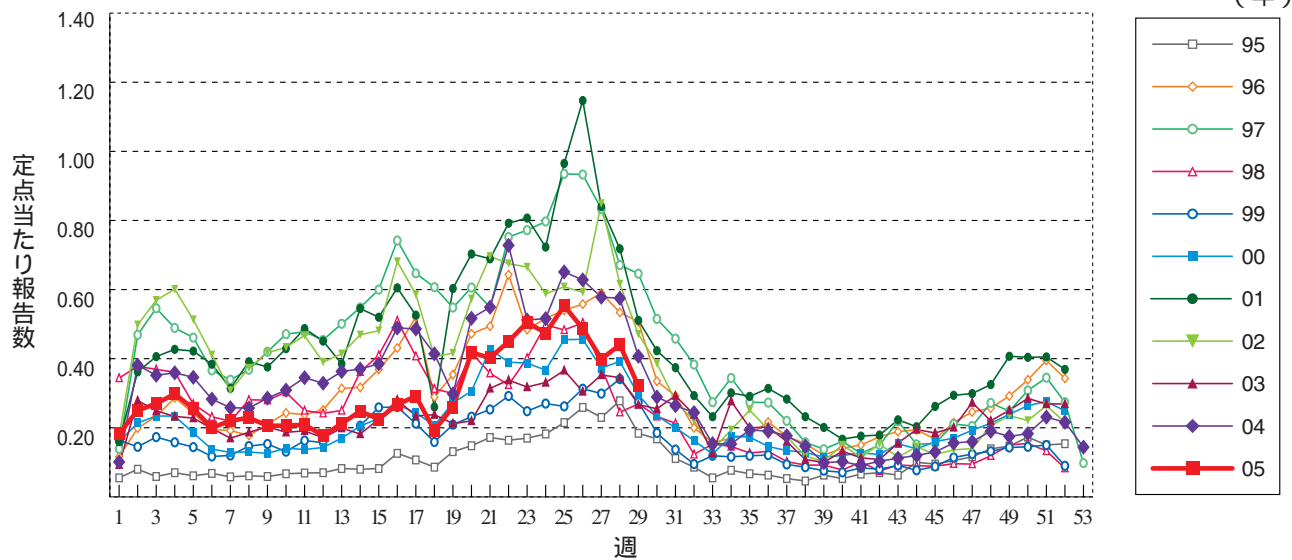
**水痘**



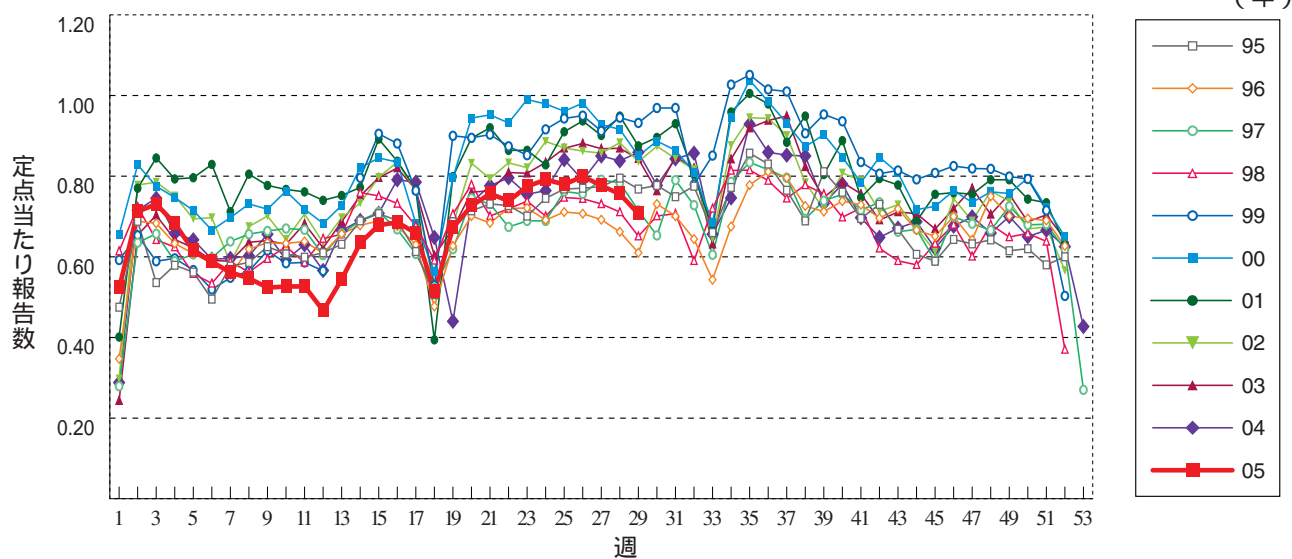
**手足口病**



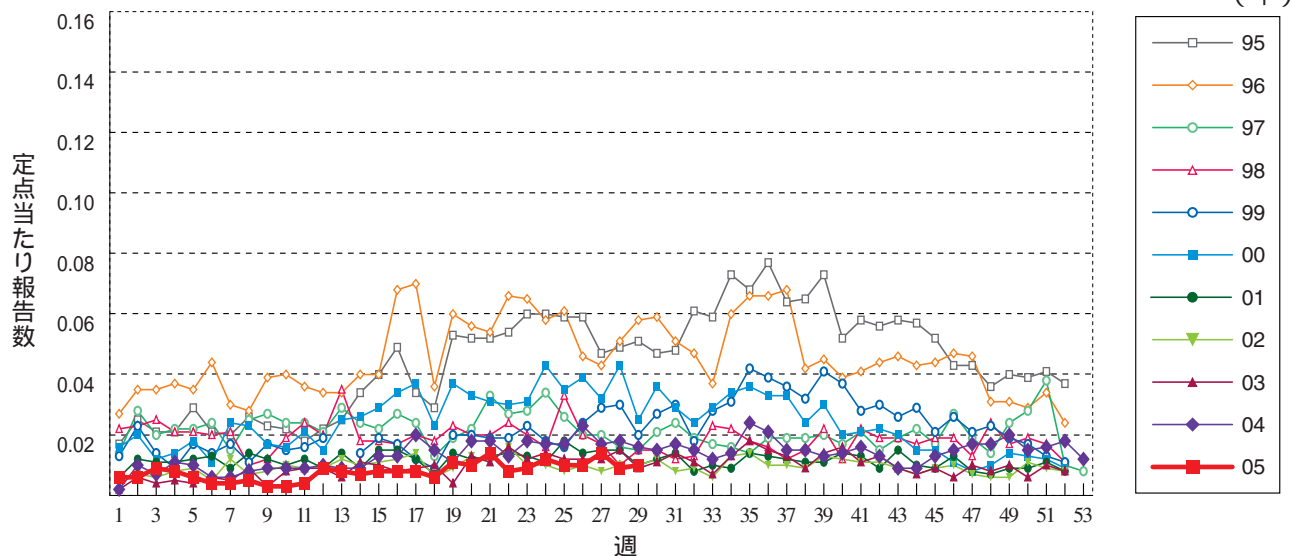
伝染性紅斑



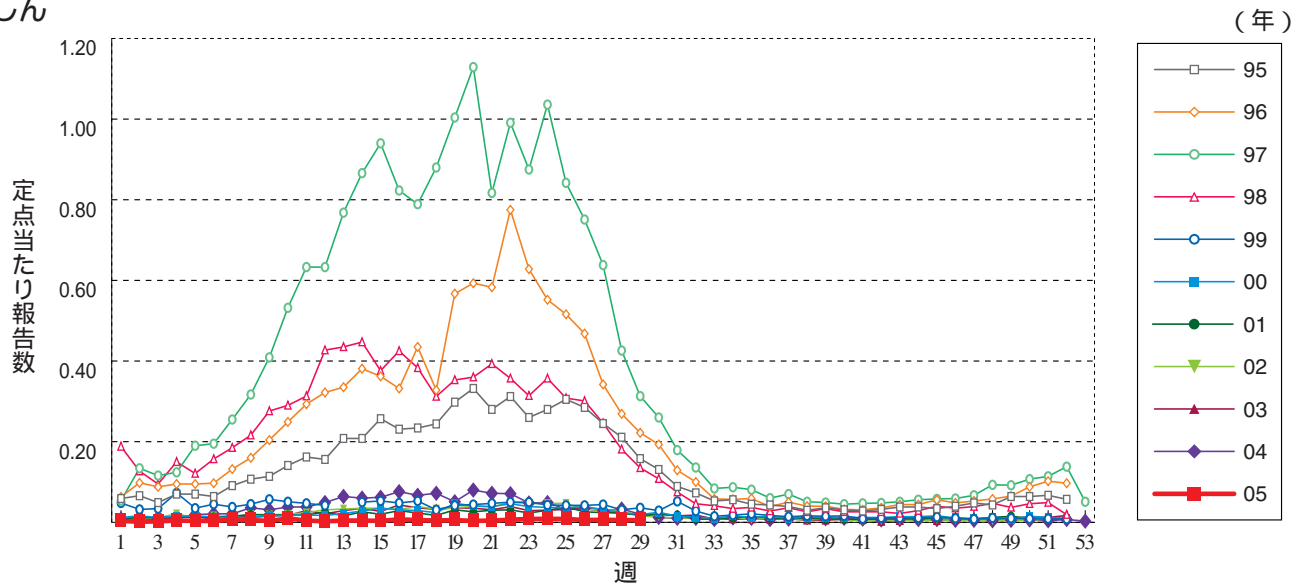
突発性発しん



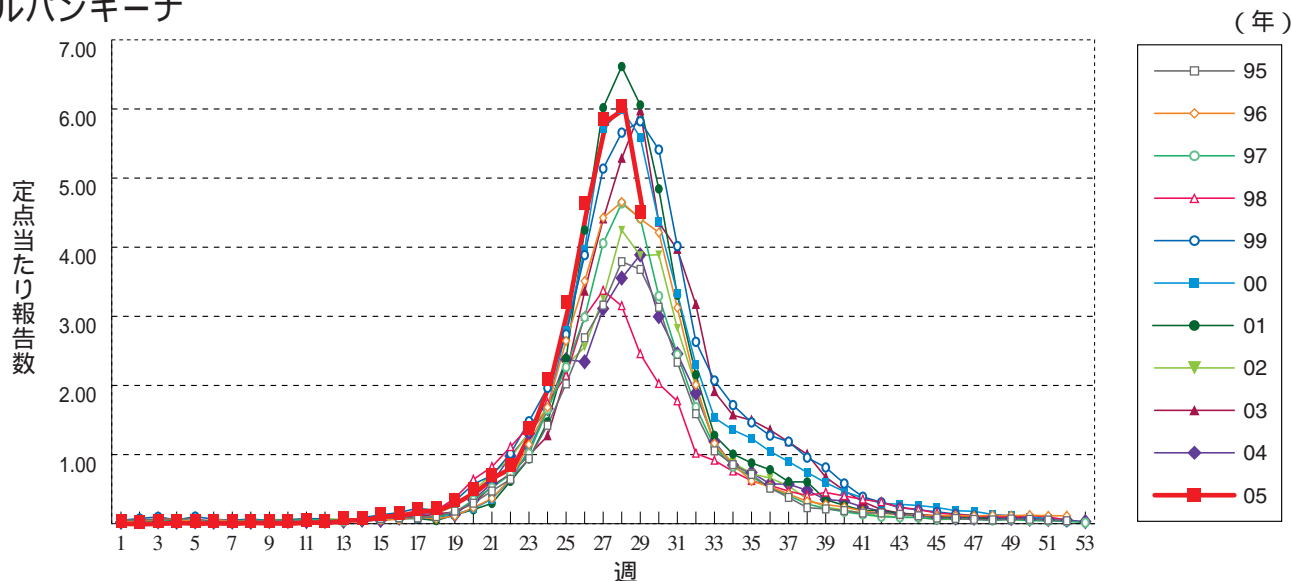
百日咳



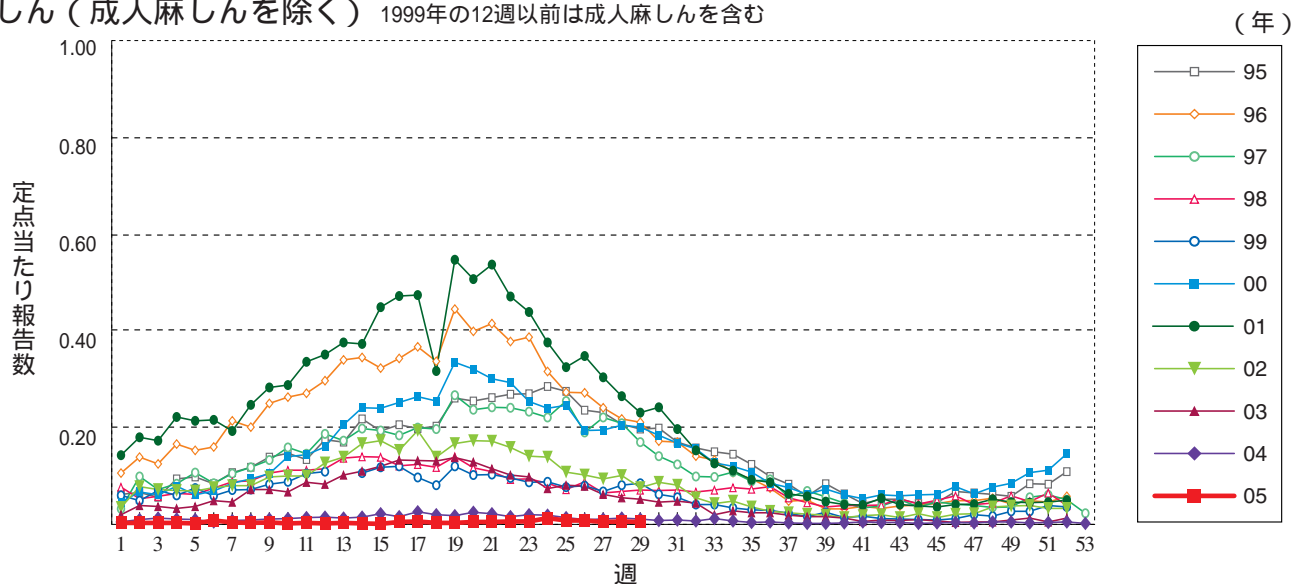
風しん



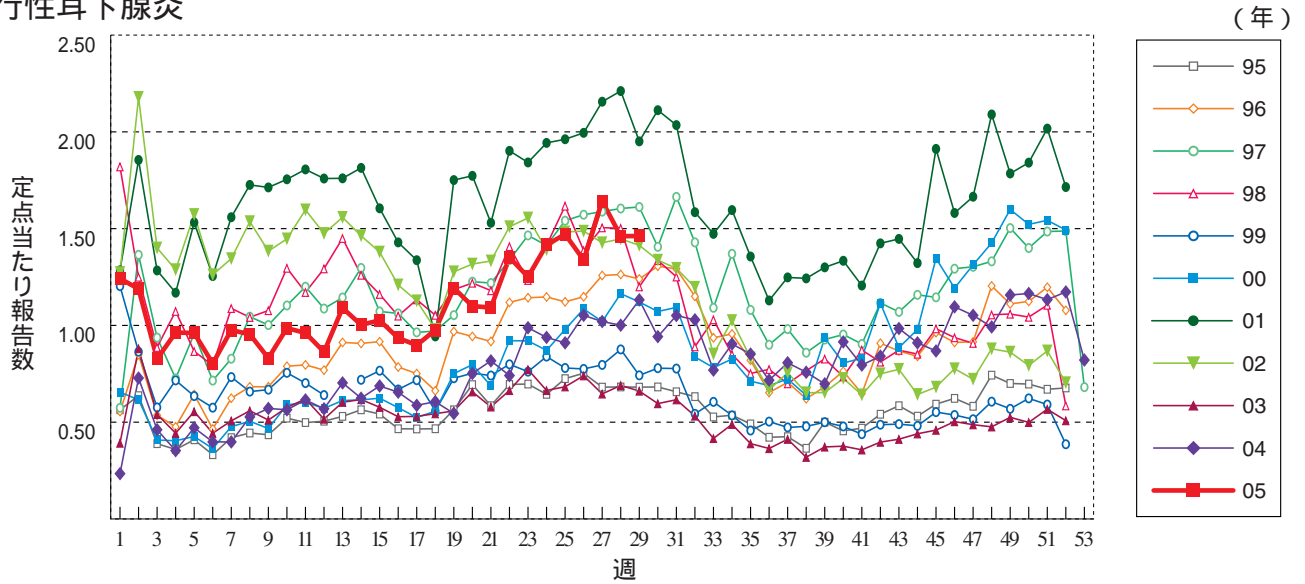
ヘルパンギーナ



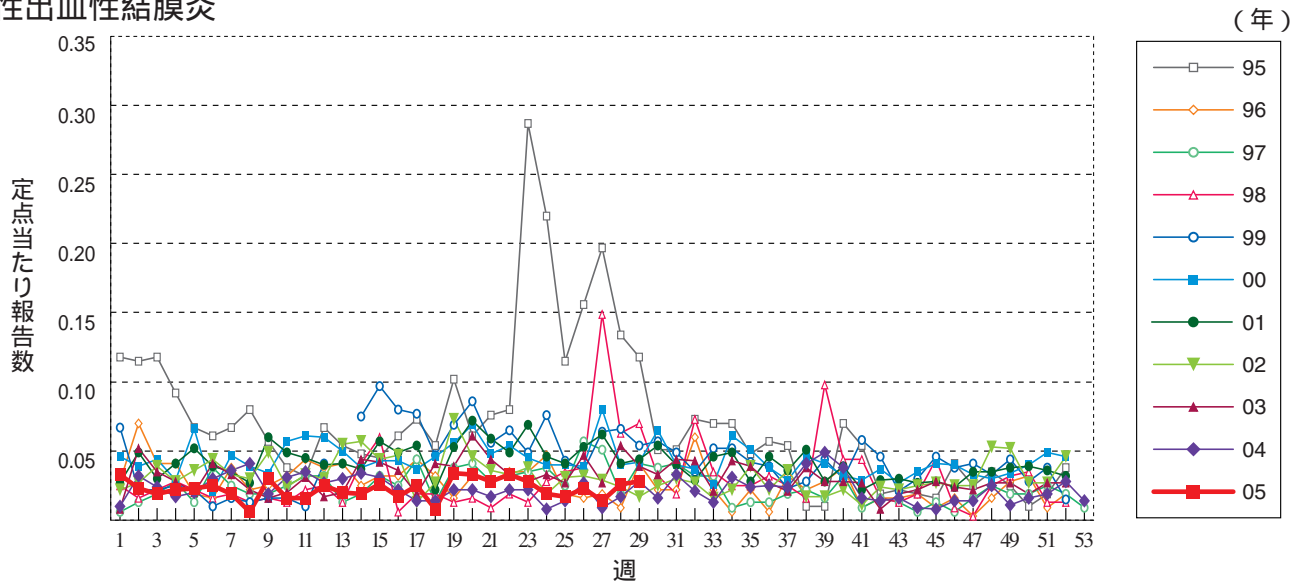
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



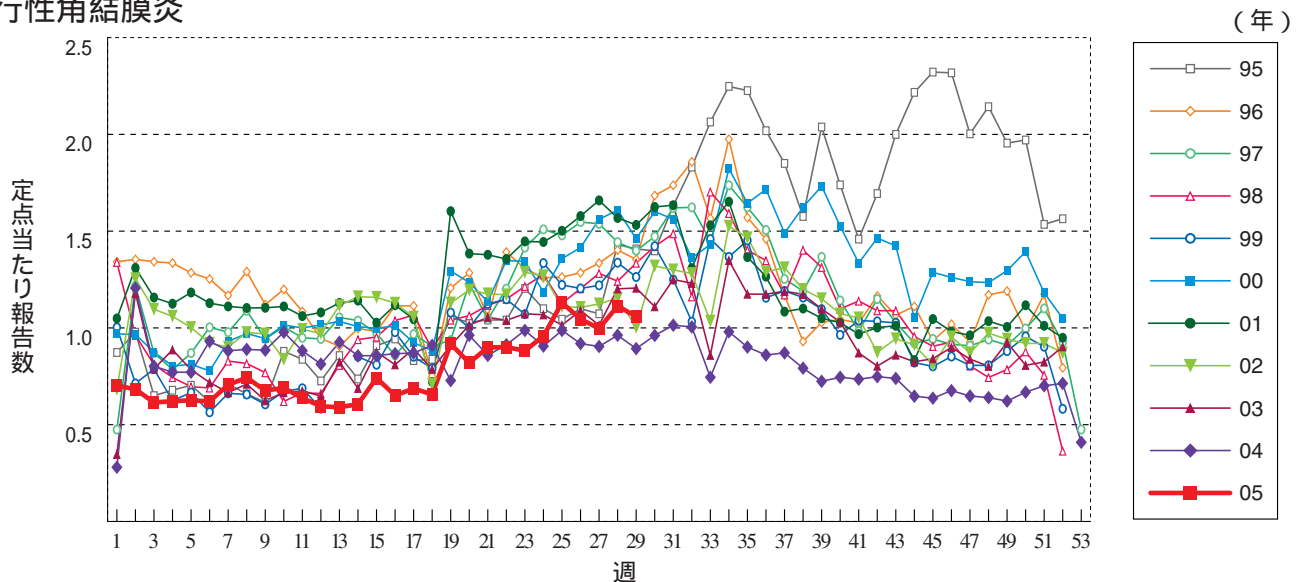
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

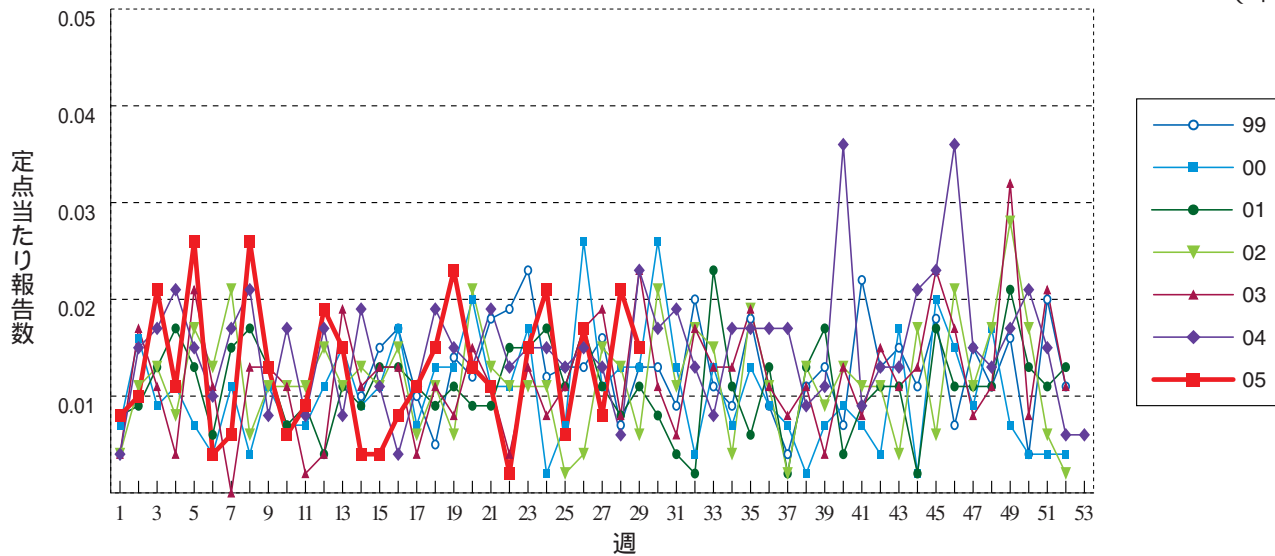


流行性角結膜炎



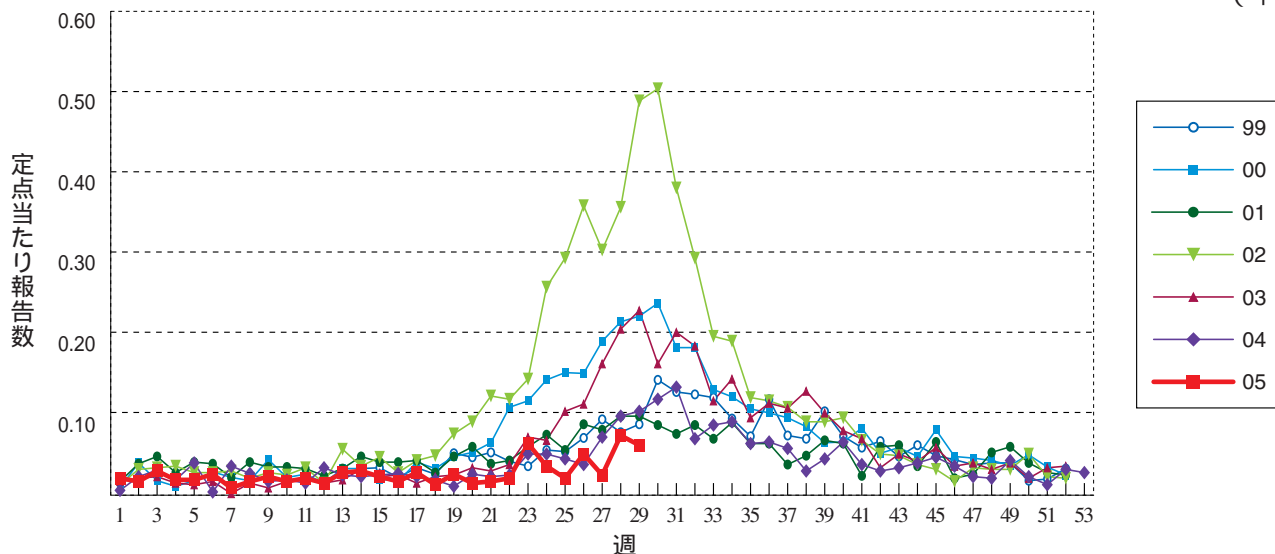
細菌性髄膜炎

(年)



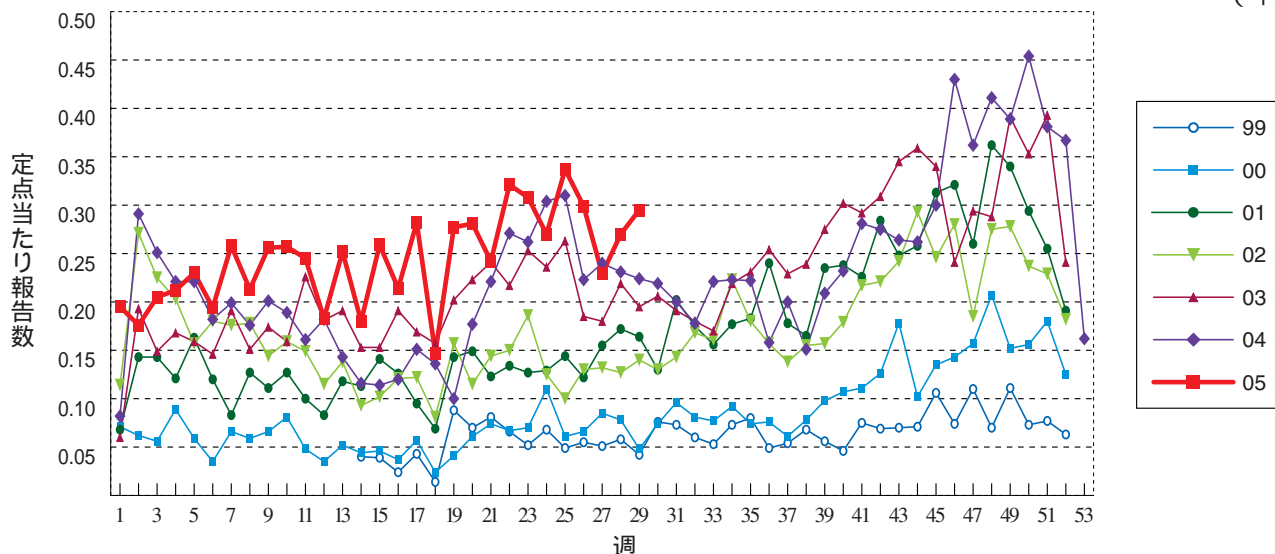
無菌性髄膜炎

(年)

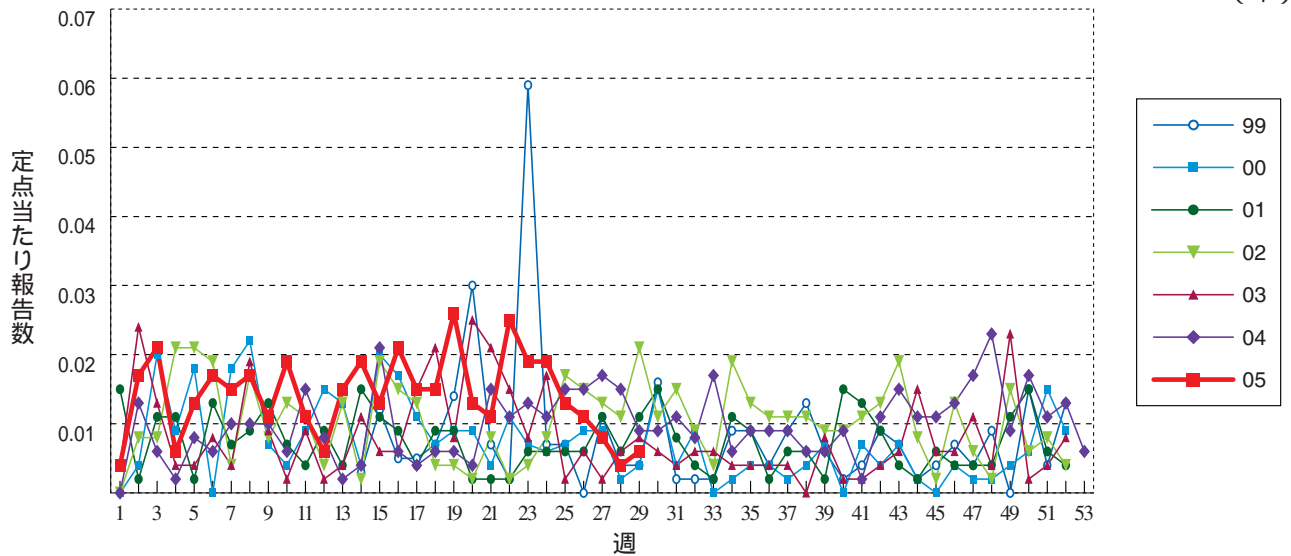


マイコプラズマ肺炎

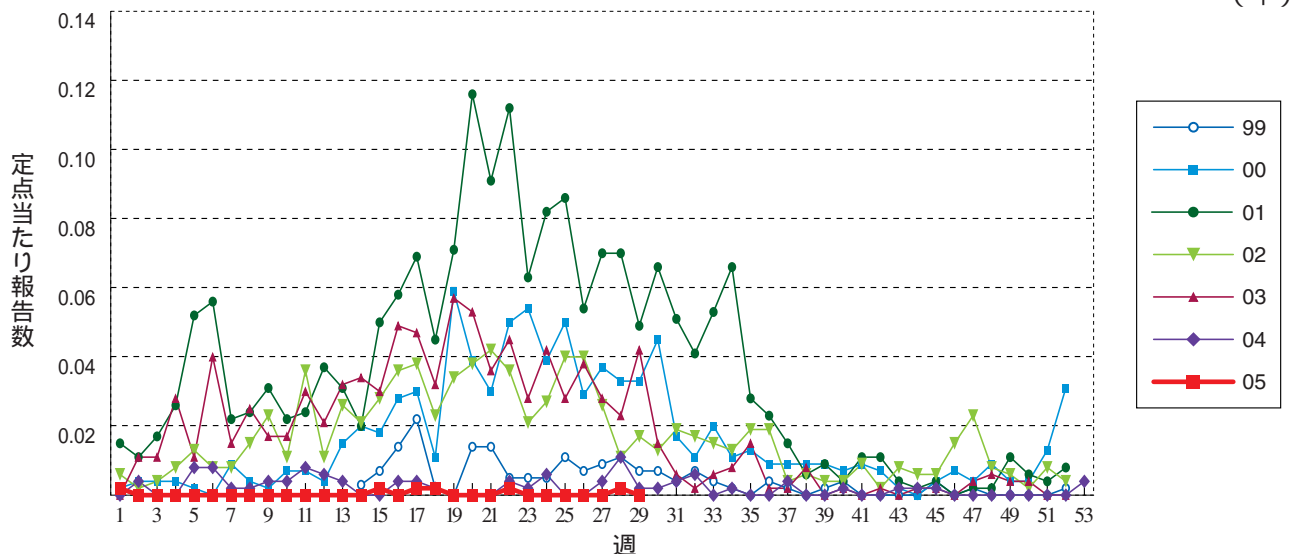
(年)



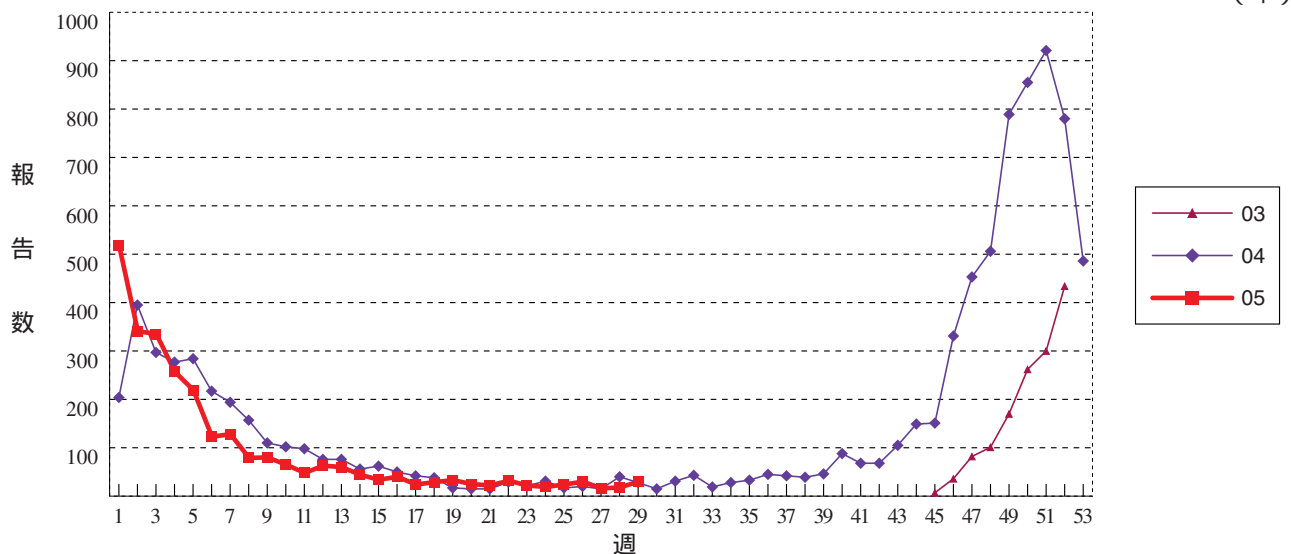
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻疹



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





## 29週のデータ

注)表中の報告数は7月28日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年29週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28	7	309	4	28	-	7
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	2	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	21	-	3	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	48	-	4	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	13	-	1	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52	-	3	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	52	1	5	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	1	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	21	-	1	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年29週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	119	1341	6	381	-	11	-	-	-	24	-	-	2	164
北海道	-	-	-	-	7	88	-	7	-	11	-	-	-	1	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	3	48	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	4	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	2	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	4	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	2	7	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	3	25	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	10	53	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	6	50	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	6	70	2	103	-	-	-	-	-	2	-	-	-	26
神奈川県	-	-	-	-	4	38	1	29	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
新潟県	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	1	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	1	13	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	2	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
岐阜県	-	-	-	-	5	36	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	4	27	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	7	63	1	27	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	2	3	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	2	24	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	6	76	1	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
兵庫県	-	-	-	-	6	36	-	16	-	-	-	-	-	5	-	-	-	17
奈良県	-	-	-	-	2	19	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	4	18	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	3	54	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	1	23	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	2	29	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	2	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	5	64	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	-	28	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	2	36	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	2	31	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	80	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	5	56	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16
鹿児島県	-	-	-	-	1	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年29週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	-	-	5	-	72	-	32	4	631	-	1	-	37	-	-
北海道	-	1	-	-	-	3	-	4	-	-	-	12	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	15	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	28	-	-	-	1	-	-
東京都	-	3	-	-	-	1	-	10	-	2	1	226	-	-	-	8	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	6	-	2	-	29	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	21	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	2	39	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	79	-	-	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	17	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	10	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	14	-	-	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年29週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	-	-	-	-	1	96	-	16	1	19	-	-	6	285	-	51
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	3
東京都	-	3	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	41	-	1
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	12	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	26	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2	44	-	1
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	3	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	4	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	4
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	17	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	1	3	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-	-	7	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年29週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	41	-	-	-	-	-	-	-	-	33	1	1	8	105	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
東京都	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	1	-	10	
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	1	7	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	6	
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年29週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	31	-	-	2	125	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	5	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	3	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年29週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	3	1	124	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年29週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	808	0.17	1703	0.56	2252	0.74	7675	2.52	3832	1.26	6038	1.98	980	0.32	2159	0.71	32	0.01
北海道	3	0.01	92	0.63	159	1.10	221	1.52	230	1.59	152	1.05	28	0.19	74	0.51	-	-
青森県	-	-	33	0.79	17	0.40	57	1.36	50	1.19	98	2.33	29	0.69	20	0.48	-	-
岩手県	-	-	7	0.19	12	0.32	71	1.92	45	1.22	64	1.73	7	0.19	17	0.46	-	-
宮城県	-	-	53	0.87	31	0.51	194	3.18	159	2.61	236	3.87	20	0.33	50	0.82	-	-
秋田県	-	-	10	0.29	13	0.37	69	1.97	26	0.74	10	0.29	24	0.69	18	0.51	-	-
山形県	-	-	23	0.77	36	1.20	37	1.23	49	1.63	1	0.03	3	0.10	28	0.93	-	-
福島県	-	-	36	0.75	31	0.65	166	3.46	76	1.58	159	3.31	43	0.90	31	0.65	-	-
茨城県	1	0.01	23	0.31	90	1.22	143	1.93	103	1.39	77	1.04	13	0.18	33	0.45	-	-
栃木県	-	-	33	0.72	14	0.30	61	1.33	64	1.39	103	2.24	12	0.26	22	0.48	4	0.09
群馬県	-	-	18	0.29	46	0.74	191	3.08	123	1.98	136	2.19	6	0.10	39	0.63	-	-
埼玉県	1	0.00	111	0.68	145	0.89	492	3.02	292	1.79	341	2.09	65	0.40	119	0.73	-	-
千葉県	1	0.00	67	0.51	157	1.19	243	1.84	200	1.52	209	1.58	38	0.29	103	0.78	1	0.01
東京都	1	0.01	80	0.56	130	0.92	344	2.42	137	0.96	259	1.82	58	0.41	64	0.45	-	-
神奈川県	-	-	112	0.54	174	0.84	541	2.63	262	1.27	633	3.07	157	0.76	161	0.78	-	-
新潟県	-	-	26	0.42	60	0.97	73	1.18	83	1.34	227	3.66	9	0.15	51	0.82	-	-
富山県	-	-	12	0.41	28	0.97	102	3.52	28	0.97	46	1.59	8	0.28	18	0.62	-	-
石川県	-	-	14	0.48	13	0.45	112	3.86	46	1.59	14	0.48	-	-	22	0.76	-	-
福井県	-	-	19	0.86	22	1.00	136	6.18	32	1.45	10	0.45	1	0.05	12	0.55	-	-
山梨県	-	-	5	0.20	9	0.36	43	1.72	30	1.20	9	0.36	27	1.08	6	0.24	-	-
長野県	-	-	44	0.80	57	1.04	119	2.16	88	1.60	53	0.96	11	0.20	33	0.60	1	0.02
岐阜県	-	-	26	0.49	23	0.43	81	1.53	56	1.06	15	0.28	7	0.13	38	0.72	-	-
静岡県	-	-	74	0.86	41	0.48	255	2.97	162	1.88	178	2.07	22	0.26	78	0.91	-	-
愛知県	1	0.01	133	0.73	114	0.63	390	2.14	249	1.37	124	0.68	18	0.10	109	0.60	1	0.01
三重県	4	0.05	19	0.42	30	0.67	170	3.78	107	2.38	57	1.27	8	0.18	47	1.04	-	-
滋賀県	-	-	27	0.82	10	0.30	61	1.85	31	0.94	38	1.15	3	0.09	16	0.48	1	0.03
京都府	-	-	16	0.21	30	0.40	195	2.60	54	0.72	103	1.37	25	0.33	42	0.56	-	-
大阪府	-	-	100	0.51	131	0.66	412	2.08	201	1.02	328	1.66	36	0.18	142	0.72	1	0.01
兵庫県	-	-	55	0.43	67	0.52	405	3.16	128	1.00	163	1.27	29	0.23	101	0.79	-	-
奈良県	-	-	4	0.12	12	0.35	60	1.76	37	1.09	97	2.85	11	0.32	28	0.82	-	-
和歌山県	-	-	18	0.58	9	0.29	86	2.77	20	0.65	22	0.71	8	0.26	23	0.74	3	0.10
鳥取県	-	-	3	0.16	19	1.00	56	2.95	15	0.79	72	3.79	3	0.16	17	0.89	-	-
島根県	-	-	10	0.43	8	0.35	69	3.00	16	0.70	55	2.39	9	0.39	19	0.83	-	-
岡山県	-	-	5	0.09	32	0.59	110	2.04	24	0.44	167	3.09	1	0.02	32	0.59	2	0.04
広島県	-	-	33	0.44	42	0.56	208	2.77	108	1.44	859	11.45	16	0.21	53	0.71	2	0.03
山口県	-	-	55	1.12	35	0.71	162	3.31	54	1.10	515	10.51	14	0.29	55	1.12	-	-
徳島県	-	-	20	0.87	10	0.43	36	1.57	26	1.13	73	3.17	2	0.09	14	0.61	-	-
香川県	-	-	10	0.31	13	0.41	82	2.56	20	0.63	36	1.13	7	0.22	27	0.84	1	0.03
愛媛県	-	-	31	0.84	35	0.95	131	3.54	25	0.68	40	1.08	5	0.14	44	1.19	-	-
高知県	-	-	2	0.06	35	1.13	62	2.00	24	0.77	9	0.29	2	0.06	12	0.39	-	-
福岡県	1	0.01	126	1.05	120	1.00	415	3.46	121	1.01	88	0.73	124	1.03	122	1.02	11	0.09
佐賀県	-	-	21	0.91	17	0.74	42	1.83	26	1.13	22	0.96	6	0.26	17	0.74	-	-
長崎県	-	-	13	0.30	12	0.27	89	2.02	40	0.91	13	0.30	13	0.30	28	0.64	1	0.02
熊本県	-	-	20	0.42	35	0.73	125	2.60	39	0.81	43	0.90	14	0.29	47	0.98	1	0.02
大分県	-	-	32	0.89	41	1.14	180	5.00	32	0.89	18	0.50	7	0.19	34	0.94	-	-
宮崎県	1	0.02	18	0.49	57	1.54	209	5.65	25	0.68	9	0.24	6	0.16	47	1.27	1	0.03
鹿児島県	54	0.58	13	0.23	28	0.50	141	2.52	53	0.95	25	0.45	23	0.41	35	0.63	-	-
沖縄県	740	12.76	1	0.03	2	0.06	28	0.82	16	0.47	32	0.94	2	0.06	11	0.32	1	0.03

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年29週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	22	0.01	13760	4.51	15	0.00	4460	1.46	18	0.03	684	1.06	7	0.01	29	0.06	139	0.30
北海道	-	-	268	1.85	1	0.01	149	1.03	1	0.03	35	1.21	-	-	-	-	1	0.04
青森県	1	0.02	179	4.26	-	-	27	0.64	-	-	13	1.18	-	-	-	-	6	1.00
岩手県	-	-	162	4.38	-	-	23	0.62	-	-	13	1.08	-	-	-	-	3	0.15
宮城県	-	-	435	7.13	-	-	95	1.56	5	0.42	6	0.50	-	-	-	-	14	1.17
秋田県	-	-	118	3.37	-	-	15	0.43	-	-	3	0.43	-	-	3	0.38	-	-
山形県	-	-	75	2.50	-	-	65	2.17	-	-	-	-	1	0.10	1	0.10	8	0.80
福島県	5	0.10	167	3.48	-	-	81	1.69	-	-	17	1.42	1	0.14	-	-	8	1.14
茨城県	-	-	289	3.91	1	0.01	172	2.32	-	-	28	1.75	-	-	-	-	4	0.36
栃木県	-	-	164	3.57	-	-	33	0.72	-	-	14	1.17	-	-	1	0.14	1	0.14
群馬県	-	-	255	4.11	-	-	61	0.98	-	-	24	1.71	-	-	-	-	9	0.90
埼玉県	3	0.02	1080	6.63	3	0.02	277	1.70	2	0.05	56	1.40	-	-	-	-	4	0.44
千葉県	1	0.01	716	5.42	-	-	227	1.72	2	0.06	19	0.56	1	0.11	-	-	2	0.22
東京都	-	-	687	4.84	-	-	182	1.28	-	-	14	1.00	-	-	1	0.04	6	0.24
神奈川県	3	0.01	1319	6.40	1	0.00	404	1.96	2	0.05	52	1.24	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	351	5.66	1	0.02	44	0.71	-	-	7	0.70	-	-	-	-	11	0.85
富山県	-	-	141	4.86	-	-	78	2.69	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	230	7.93	-	-	159	5.48	-	-	12	1.71	-	-	-	-	3	0.60
福井県	-	-	129	5.86	1	0.05	41	1.86	-	-	6	2.00	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	-	-	107	4.28	-	-	6	0.24	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	429	7.80	-	-	120	2.18	1	0.09	14	1.27	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	216	4.08	-	-	64	1.21	-	-	18	1.50	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	564	6.56	-	-	167	1.94	-	-	19	0.95	-	-	-	-	5	0.50
愛知県	1	0.01	1379	7.58	-	-	269	1.48	-	-	33	0.94	-	-	1	0.08	1	0.08
三重県	-	-	469	10.42	-	-	62	1.38	-	-	16	1.33	-	-	-	-	3	0.33
滋賀県	-	-	145	4.39	-	-	23	0.70	-	-	5	0.71	-	-	-	-	1	0.14
京都府	-	-	238	3.17	-	-	84	1.12	-	-	7	0.39	-	-	-	-	1	0.14
大阪府	5	0.03	740	3.74	4	0.02	188	0.95	-	-	18	0.35	-	-	-	-	7	0.50
兵庫県	1	0.01	528	4.13	3	0.02	122	0.95	-	-	26	0.74	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	126	3.71	-	-	45	1.32	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	83	2.68	-	-	48	1.55	1	0.25	1	0.25	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	44	2.32	-	-	10	0.53	-	-	1	0.33	1	0.20	1	0.20	-	-
島根県	-	-	43	1.87	-	-	19	0.83	-	-	9	3.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	92	1.70	-	-	39	0.72	-	-	6	0.50	-	-	-	-	2	0.40
広島県	-	-	113	1.51	-	-	148	1.97	-	-	18	0.90	-	-	8	0.42	2	0.11
山口県	-	-	122	2.49	-	-	42	0.86	-	-	13	1.44	1	0.11	-	-	10	1.11
徳島県	-	-	76	3.30	-	-	26	1.13	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	65	2.03	-	-	65	2.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	70	1.89	-	-	70	1.89	-	-	24	3.00	-	-	2	0.33	6	1.00
高知県	-	-	23	0.74	-	-	28	0.90	-	-	1	0.33	-	-	-	-	5	0.71
福岡県	-	-	354	2.95	-	-	222	1.85	2	0.08	26	1.00	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	75	3.26	-	-	54	2.35	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	-	-	64	1.45	-	-	52	1.18	-	-	19	2.38	-	-	-	-	3	0.25
熊本県	-	-	151	3.15	-	-	122	2.54	1	0.11	14	1.56	-	-	7	0.47	4	0.27
大分県	1	0.03	226	6.28	-	-	44	1.22	-	-	-	-	-	-	1	0.09	1	0.09
宮崎県	-	-	319	8.62	-	-	48	1.30	-	-	8	2.00	1	0.14	1	0.14	-	-
鹿児島県	-	-	127	2.27	-	-	62	1.11	-	-	2	0.29	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	-	-	7	0.21	-	-	78	2.29	1	0.10	52	5.20	-	-	-	-	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年29週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	-	-	30
北海道	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	10
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-
茨城県	1	0.09	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	...
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	1	0.07	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	-	-	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	6

**定点把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。



## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。  
\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年29週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第7巻 第29号 平成17年8月5日発行  
発行：国立感染症研究所  
厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部  
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
T E L : 03-5285-1111  
F A X : 03-5285-1129  
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
< 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。